



市内初の施設分離型小中一貫校 9年間の学びをつなぐ「千里わかば学園」が誕生

豊中市教育委員会は、第八中学校区（第八中学校・北丘小学校・東丘小学校）に誕生する、市内初となる施設分離型小中一貫校の名称を「千里わかば学園」に決定しました。新たな学園は、令和8年（2026年）4月からスタートします。

本学園は、校舎や通学区域は現行のまま活用しながら、小学校から中学校までの一貫した教育を行う「学園制」を導入し、9年間を見通した連続性のある学びを進めます。また、自他を認め合う「もちあじ」を大切にしたり、千里ニュータウンをフィールドとした地域学習、探究学習を軸としたキャリア教育を行い、子どもの未来へとつながる魅力ある学校づくりと授業づくりを進めます。

千里わかば学園は豊中市立第八中学校、豊中市立北丘小学校、豊中市立東丘小学校の3校で構成されます。

校名「千里わかば学園」の由来

3校の児童会・生徒会と教職員が話し合い3つの候補に絞り込んだ上でアンケートを実施し、約1200人の児童生徒の回答と次の4つの観点を考慮して決定しました。

- ① 今後長い間、みんなで使うことをふまえて、親しみを持って使い続けられるもの
- ② こどもたち、保護者、地域のみなさんに受け入れやすいもの
- ③ 校名案の理由がはっきりしていて、わかりやすいもの
- ④ 地理的、歴史的、文化的な特徴をあらわすもの

【報道機関からの問い合わせ先】

豊中市教育委員会事務局 学校教育課

担当： 丸子・溪口

TEL：06-6858-2705

E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp